

中心市街地活性化策を話し合う



3月18日、市役所で「第1回『元気なかのや』づくり会議」が行われました。

これは、嶋田市長の基本姿勢である対話の取組の一つであり、テーマごとに市長自らが市政運営に関する参考意見を聴取する会議で、今回は「街のにぎわいづくり」をテーマに、リナシティかのやを核とした中心市街地活性化策について意見交換を行いました。



第1期生 27人伝統築き卒業 ～第1回市立鹿屋看護専門学校卒業式～



3月2日、市立鹿屋看護専門学校で3年ぶりの卒業式が行われ、27人（男性6人、女性21人）が第1期生として卒業しました。

平成20年4月に新たに3年課程全日制としてスタートした同校は、今回が初めての卒業式。卒業式では、今泉校長が卒業生一人ひとりに「おめでとう」と卒業証書を手渡し祝福。在校生代表で末永結花さんが送辞を、卒業生代表の川邊美紀さんが「多くの方々の支えがあって卒業を迎えることができました。本校で学んだ多くのことを心の糧として日進月歩の医療技術に対応できるよう精進していきます」と答辞を述べ、卒業生27人は新たなスタートを切りました。

商工業を盛り上げよう ～かのや産業フェスタ～



3月20日・21日、鹿屋商工会議所駐車場で「第一回かのや産業フェスタ」が東北地方太平洋沖地震災害復興応援イベントとして開催されました。

会場では、被災地への救援物資の受付も行われたほか、商工業を盛り上げようと大隅全域から109社の企業がブースを設け、2日間で約16,000人の人出でにぎわいました。

鹿屋 KANOYA 古江バイパス開通



3月6日、古江バイパス古里～花岡間1.3kmが整備され、開通記念式典が行われました。

このバイパスは、急勾配、急カーブが連続する通称「古江坂」を回避するために、鹿屋市白水～垂水市新城間7.5kmを繋ぎます。

今回の開通により、市道白水近在線を通らずに直接国道220号へ接続され、特定中型自動車以上も通行できるようになりました。

夜間急病センター 4月1日オープン



3月30日、大隅広域夜間急病センターの開所式が行われました。

同センターは鹿屋市役所北側の多目的駐車場内に、内科・小児科の夜間急病に対応する診療所として設置されました。診療時間は午後7時から翌日の午前7時までで、治療は応急的な処置に限られ、薬の処方方は1日分となります。診療後は、改めてかかり付け医等での受診が必要となります。